paper RADIO

ハイサイ！ウチナ～タイム！

No.49
4月
2020年

かりゆし58

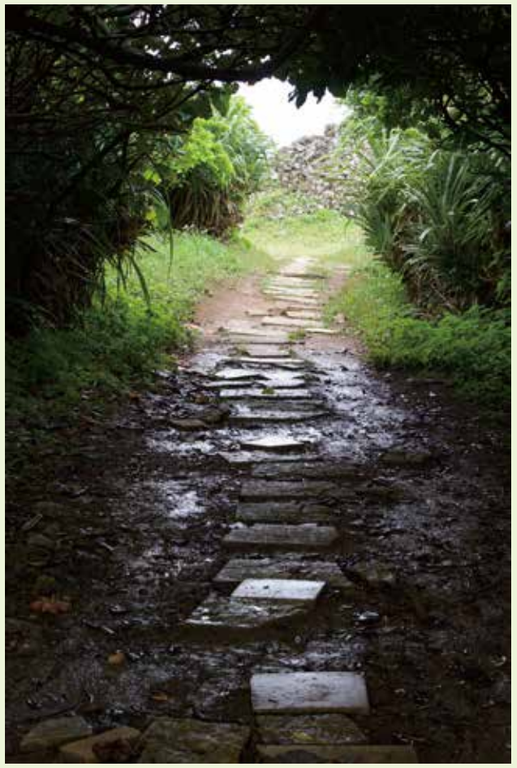
かりゆし58

2005 年 4 月沖縄で結成の 4 人組バンド。
沖縄音階にロック、レゲエをチャンプルーしたサウンドと、かざらない言葉でメッセージを発信し、世代を超え人気をよんでいる。
2006 年 2 月ミニアルバム『恋人よ』でデビュー。
2016 年 2 月 22 日にデビュー 10 周年を迎え、さらに精力的な活動を続けており、今年 2 月 22 日にニューアルバム「バンドワゴン」をリリース。
沖縄で生まれ育った彼らならではの『島唄』を全国に向け唄い続けている。

琉球古道を歩く

12.「島尻方東海道(糸満市から八重瀬町へ)」・後編

富山義則
フォトグラファー



具志川城
グスクへ入る道には敷石が置かれて異次元の世界に向かう導となっている。

前回のチチャマグスクから続いて、さらに糸満市、八重瀬町のグスクを那覇の居酒屋店長と巡り歩いていきます。

チチャマグスクを後にした後は喜屋武の具志川グスクへと車を走らせました。名前を聞いてアレっと思ったのですが、実は具志川グスク、うるま市と久米島にも同じ名前のグスクがあるのです。南城市には具志頭グスクという紛らわしい名前のグスクもあり、なにやら賑やかな名前のグスクですね。

三つのグスクは海のそばに建てられていることが共通点だそうです。久米島の具志川グスクはまだ行ったことがないので機会を見て歩いてみたいと思っています。どのようなグスクなのか興味のあるところです。

さて喜屋武の具志川グスクですが、私たちが行った時は発掘調査中なのか歩きやすく整備されたような箇所もありました。他のグスクとは違い断崖に建てられたグスクらしく海に逃げらるような仕組みもあり、もし何かあった時には城壁もしっかりしているので護りの堅そうなグスクと感じました。当時の人たちは綺麗な海を眺めながらどんな気持ちでこのグスクにいたのだろうかと想像してしまいます。

続いて米須グスク、真壁宮へ立ち寄り八重瀬グスク跡に向かいました。このグスクは具志川グスクとは全く違い小高い丘の上に築かれていました。遠方まで見通せる見晴らしの良い丘なので、天候次第で物見台からは慶良間諸島まで見えるそうです。敵が攻めてきたらすぐ見つけられたでしょうね。

現在は八重瀬公園になっていて駐車場から階段を歩いていけば石垣など当時の名残が残っています。公園は桜の名所でもあり、毎年一月に桜まつりを行うそうです。本土では一月に桜が見られるなんて想像もできないが、見晴らしの良い絶景スポットで宴を楽しめるのは羨ましい限りです。

米須グスク
石垣に囲まれたグスクへ向かう道。この先に野面積みの石垣があった。

具志川城
断崖絶壁の淵に積まれた石垣から眺める太平洋。

八重瀬グスク
現在は八重瀬町民に愛されている小高い丘の上の公園として整備されている。

八重瀬グスク
展望の開けた位置にあったグスクから町全体の様子がよく見えていたに違いない。

真壁宮
糸満市の説明によれば1531年に創建され霊石を祭る祠が建てられていたそうです。現在は航海安全の神として礼拝されている。

新城グスク
鳥居には驚いたが、お社があるのでお宮として機能しているのだろう。公園としても地域の方たちに愛されているようだ。

次の新城グスク跡に向かう前に港川人の見つかった採石場跡に行ってみました。約二万八千年前の化石人骨が石灰岩の中から発見されたそうです。行ってみたら港のすぐそばなので驚きました。沖縄の地質が石灰岩だから化石になったのでしょうか。他にも近くのガンカラーの谷や遠くは石垣島でも化石人骨が見つかったと聞いていたので古代の沖縄の様子が次第に解明されていくのではと期待しています。

次に回った新城グスク跡は驚きました。まず目に入ったのが赤い鳥居なのです。グスクで鳥居は珍しいなぁと思っていると新城神宮の文字が。グスクはほとんど残っていないようで、一部の石垣が残るだけのようです。現在は公園として利用されていて展望台が設置されていましたが、鳥居と裏のお社が印象的でした。

ここからは駆け足でガジュマルを見て歩きました。ガジュマルと言っても沖縄で二、三を争う大きなガジュマルがあるのだとか。まず八重瀬町与那城のガジュマル。町指定の天然記念物に指定され、樹齢推定250年で沖縄一の巨木に選ばれたガジュマルです。見事でした。

続いて当銘のガジュマルに行ってみました。ここのガジュマルは樹齢300年らしいのですが、与那城のガジュマルにはかなわず沖縄で三番目の巨木ガジュマルということでした。しかしこのエリアには巨木ガジュマルの二位から三位が集中しているそうで、不思議なパワーを感じました。

さて次回は、
本島最北端のエリア、国頭村を歩きます。

小城のニーセー石
八重瀬町の青年(ニーセー)の守り神と言われている村シーサー。現在も行事のあるときには拝まれているそうだ。

当銘のガジュマル
樹齢300年と言われている巨木ガジュマル

与那城のガジュマル
沖縄の巨木ガジュマルNo. 1、幹周りは全国で第3位だそうだ。

新城グスク
グスクの面影はわずかに残る石垣だけだった。

港川人出土した採石場は今は使われていない。

販売価格の5%が首里城再建のため「一般財団法人沖縄美ら島財団首里城基金」へ寄付されます。

琉球という国があった

上里隆史・文　富山義則・写真
一ノ関 圭・絵
カラー 40P ハードカバー
(福音館書店刊)
1300円+(税)
2020年2月5日発売

福音館書店「たくさんの不思議」シリーズで好評だった「琉球という国があった」が首里城再建に協力するためハードカバーになって再販売することになりました。上里隆史氏の分かり易い解説と豊富な写真やイラストで琉球王国の庶民の生活から外交の歴史までが描かれている一冊です。

第30話　ウフアミ／大雨

おおしろひそか
沖縄県出身、東京都在住。エブリスタの「スマホ小説大賞２０１４」にて角川ホラー文庫賞を受賞。『下町アパートのふしぎ管理人』シリーズでデビュー。その他、チャット小説アプリ『peep』、ＤＭＭノベルアプリ『TELLER』のライター。ゲームシナリオライター。

ワイパーの能力が追いついていない。

左右に必死に動いて、激しく打ち付けるフロントガラスの雨を掻きだしているが、視界はすぐに歪んでいく。

月明かりも当然ない。街灯もほぼない夜の田舎道はあまりにも視界が悪く、頼りのフロントライトも数メートル先を照らすのが精一杯に感じる。

ルームミラーに映る自分と目が合う。

眉間に深い皺を寄せていた。目の下の濃いくま。

薄らと汗が滲んでいる。いつの間にかこんな顔をしていたのかと感じ、視線を目の前の道路を戻す。

強烈な横風が北上を続ける車体を揺らす。軽自動車はその名の通り、重さもなく簡単に進路を揺らされる。

対向車も後続車もいないが、一瞬たりとも油断ができないドライブになってしまった。

大型の台風が明日には沖縄本島に到着するらしい。

「やっとか……」

俺はずっとこの機会を待っていた。これほど夏が待ち遠しかったことは今までなかった。

とにかく海で向かいたかった。ただの海じゃない。誰もいない海。できれば近くに河口がある方がいい。集まった雨がそのまま押し出るように海に流れる川がいい。

この道路を真っすぐに後五キロほど進めばそんな海があるのは分かっていた。

――もうすぐだ。

そう思った瞬間だった。

下り坂に入った瞬間、今までで一番強い横風に車体が煽られる。

道路のへこみにできた水溜まりにハンドルを取られる。すぐに戻そうとしたがそれがいけなかった。車はスリップしてそのまま山側にあった溝に後輪がはまった。

「くっそ……」

走っていないと余計に雨音がうるさく感じる。

辺りを見回すが対向車が来ている様子もない。不幸中の幸いだった。もしもタイミングが悪ければ正面衝突していてもおかしくない。

車をゆっくりと発進させる。苛つきを抑えるために煙草に火を点けた。

深く吸い込みゆっくりと息を吐く。

アクセルをさらに踏み込んで気づいた。車体に不自然な揺れが起きていた。

最初は道路のせいかもと思っていたが、どうやら違うらしい。

「右側の後輪か……マジかよ」

慌てて車を道の端に寄せて運転席から出る。

嫌な予感は現実の物となった。さっきスリップしたときにタイヤがパンクしていたらしい。

ジュっと、小さな音を立てて煙草の火が消える。

そのまま地面に煙草を吐き捨てた。

一瞬で全身がずぶ濡れになった。

「参ったな……。このままでも行けないことはないけど、もしも途中で止まったら」

スペアタイヤはあるがこの下り坂では交換を行うのは無理がある。それに視界も悪い。

最悪の状況が頭に浮かんだ。待ちに待った日。慎重に行動していたはずが、一気に計画が頓挫しかける。

「まずいな」

全身から冷や汗が溢れるが、そのまま雨と一緒になって流れ消える。

途方に暮れながらも顔を上げると、数十メートル先に店の明かりが見えた。

「ドライブインか……。まだやってる……わけないよな。看板のライトを消し忘れたのか」

時刻はすでに零時を越えている。開店はしていないだろうが、もしかしたら誰かいるかもしれない。

ライトを借りることもできるかもしれない。

そんな淡い期待を抱きながら、再び運転席に乗り込む。

不規則な揺れのままドライブインの看板の元まで進む。鎖が掛かった駐車場が目に入る。だれた鎖は地面に着いていて、その役目を果たしていなかった。

車を停めて建物の方へと向かう。やはり店の営業時間は終わっているようだ。

だが、幸いなことに店の中に明かりと人影が見えた。

「すみません！　ちょっといいですか！」

濡れた手でドアを叩く。薄暗い中、店内の人影がこちらを向いたのが分かった。すぐにこちらに向かって歩いてきた。

店の中から出てきたのは七十を過ぎた老婆だった。

「あらあら、どうしたのこんな夜に。台風がもう来るの知らんかったの？」

老婆は促すように俺を薄暗い店内に入れてくれた。すぐに奥に消えてタオルを渡してくれた。

「ちょっとした事故でタイヤがパンクしてしまって……スペアタイヤはあるんですが、この雨で視界が悪くて変えられないんです。ライトがあれば貸していただけませんか？」

用件を端的に伝えた。

余計な長居は無用だ。すぐに修理を終えて出発しなければならない。

「ライト？　あるさぁ。あんたツイてるね。私が家に帰ってたら、どうしたかねぇ。ふだんだったらこんな夜までいないよ」

「……すみません。確かにそうですね。本当に良かったです」

老婆はキッチンがある奥の方へ入っていき、すぐにライトを持って現れた。昔ながらの大きな赤いライト。電池も切れてなかった。

試しに窓の外に見える、自分の車を照らしてみた。十分な明るさがあり安心する。

だが、俺はある異変に気づき声を失う。

――車のトランクが思いっきり開いていた。

まずい。あの中には俺の秘密が入っている。俺はその秘密を捨て去るためにわざわざこの大雨の中でも山道を運転してきたんだ。

「あいあい、だぁ、大変になってるさぁ。あんな開けっ放しで……中までずぶ濡れになるさぁ」

老婆が首を振った。

「いや、さっきまで開いてなかったのに……。スリップしたときトランクも壊れたのか……」

「寒いはずね……かわいそうに。ずっと寒かったはずねえ」

「……え？」

意味不明な老婆の囁き。思わず老婆の顔を見る。

「あんたが来るの分かってたよ」

「俺が来るのが分かってたって……どういう意味ですか？」

「そのまんまさぁ。こんなお婆ちゃんがわざわざこんな夜までお店にいるわけないでしょう。いつもならとっくに帰ってお風呂も入って寝てるさ」

「じゃあ、どうして……」

「ここで待ち合わせしている人がいるから、しばらく待たせて欲しいって頼まれた。ほら、私ユタではないけど、霊感はある方だから分かるわけさ。でも、お客さんには内緒にしてるよ。バレたら変なーするからさ」

微笑んだ老婆。歯の少ない口の中は不気味なほどの闇が広がっているように見えた。

「待たせて欲しいって……誰に……」

「あい、さっきからずっとその席に座ってるさ。あんたのことジッと見てるよ。ほら、待ちかんていしてるさ」

老婆は俺の真後ろの席に視線を向けた。

背後から視線を感じる。すぐに振り向きたいが恐怖からそれができない。固まる首。仕方がないので体ごと後ろを向く。

――いた。

半年前に俺が殺した彼女がそこにいた。雨で全身が濡れていた。

俺の方を沈んだ瞳でジッと見ている。

コンコン。

ドライブインの入り口のドアがノックされる。

また来客かと思ったが違った。それは絶対に客ではないからだ。

「ひ、ひぃぃ」

入り口には腐ってほとんどに肉が溶けて崩れ落ちた、彼女の遺体が立っていた。

剥き出しになった瞳があった場所からは、赤黒いウフアミが流れ落ちていた――。

次回は「シービチ／口笛」お楽しみに！

大城密先生の本

角川文庫

たるーの島唄コラム

第三十七回　シマウタと歌碑　宮古諸島編

個人的には宮古島に行ったのは、もう6年も前の話になる。レンタカーでまずはカママ公園へ。「とーがにあやぐ」の歌碑を見に行った。

大世照らし居す　。まてだだき
国ぬ国々島ぬ島々　輝り上がり覆いよ
我がやぐみ御主が世や根岩どうだらよ

（歌意）大豊作を照らされておられる太陽のように国々や島々を照り上がって覆いください　私たちの恐れ多い御主がもたらす大豊饒は神聖な岩のようなものだ

「とーがにあやぐ」の歌碑。

平良下里のカママ嶺公園にある。このウタの歴史は古く、そして扱うテーマも大きなスケールのものから家庭内のことにまで及んでいて、宮古島の方々にとても愛され続けてきたウタだ。

紹介したい歌碑は他にもある。「なりやまあやぐ」のそれや「張水のクイチャー」が歌われた鏡原の馬場などなど。

そして伊良部島に渡ると「伊良部とーがに」の歌碑。現在の伊良部大橋の近くにある。行った当時は橋がなかったので正確ではないけれど。「とーがにあやぐ」と同じ「とーがに」が付くウタだがこちらは「恋歌」である。

サヨーイ伊良部とがマーン　間がまんなヨー
離りゆとが間がまんなヨー
渡す　。瀬ぬマーン　休す　。瀬ぬ
あてあ　あてなむぬヨー

（歌意）伊良部島と（宮古島）の間の海に　離れ島との短い間の海に　休む為の瀬があればいいのに

恋人を隔てる海を渡る時の思いが美しいメロディーに昇華している。

そして伊良部島では「神歌」を聴かせてもらった。民謡酒場などに行っても出会えないウタだ。「つかさ」と呼ばれる神事を司る「神人」（かみんちゅ）が歌ってくれた。

神歌は決して庶民が宴会などで歌ってきたものではない。三線も使わず厳かな響きを持つウタがあれば、軽やかなウタもある。こうしたウタは神人だけが受け継いできたものだ。

「歌碑」の話をしていながら、前回同様どうしても歌碑にならなかったウタの話になってしまう。ウタは生きている。歌碑は墓標ではない。歌い継いでいかなければ、と痛感する。

たるー（関　洋）
宮崎県生まれ。広島在住。
琉球民謡協会教師。ネットでおなじみの「たるーの島唄まじめな研究」の著者。
広島で三線教室や「YOU 果報バンド」を主宰。

銀座わしたショップ
4月の オススメ
琉球ガラス
春ギフトにおススメの琉球ガラスが入荷してきました。
色鮮やかなピンクの琉球ガラスです。
地下一階にてお取扱いしています。

沖縄食品・三線・オリオンビール
泡盛は５００種類以上！
うれしいたのしい沖縄ワールドゆ蔵！ ☎045-582-8186
沖縄ショップ ぷからす家
神奈川県横浜市鶴見区東寺尾5-1-2
ぷからす家 http://pukarasuya.com
業務用の販売もやってます！

空飛ぶあっちゃんの自由発想沖縄料理

第19回　高山厚子

～食は笑顔を運び心を紡ぐ～

「料理はママゴト」の自宅ランチ会は、15年以上も継続の人気会だ。

幼い頃から、沖縄北部、山原の野山に実る赤や黄色の野イチゴやグミ、庭のバンシルーやバナナをもぎ取り、皆でママゴト遊びをしたものだ。今でも、人と関り、ウチナー流に人を招くのが好き。料理するのが好き。だから、人がよく集まる。

最近の人気メニューの一つが、絹豆腐を使ったムースだ。前日に作り置き出来る上，盛り付けも自由自在で食卓に華を添える。また、パーティー等への差し入れの人気メニューでリクレストも多い一品だ。絹豆腐がまるでチーズケーキのように変身するのです。皆さ～ん、簡単に作れますから、是非、作って楽しんでくださいねえ！

豆腐文化の沖縄。島豆腐（木綿豆腐）の美味しさは、煮付けよし。そのまま食べて良し。豆腐チャンプルーには抜群。他の豆腐が及びませんねえ。でも、今回は、絹豆腐にあえてチャレンジしましょ。

絹豆腐がチーズケーキに変身？ 作ってみてね！ 絹豆腐のムース!!

材料：
①絹豆腐一丁（約３５０～４５０ｇ位）
②生クリーム（ホップ用ではなく純粋なものを使用）１箱。
③濃縮カルピス（１５０～２００cc好みで甘さを加減して）
④シークワサー果汁１００％大匙3（カルピスの代わりにシークワサーと砂糖でも良い）
⑤紅イモフレーク大匙５
⑥ゼラチン10ｇ＋湯煎用水約１００cc

作り方：
①ゼラチンを湯煎する（紅イモフレークを加え、よくかき混ぜておく）
②ミキサーに、絹豆腐、生クリーム、濃縮カルピスを入れてよくかき混ぜ、湯煎した①のゼラチン等を加え、更に良くかき混ぜ、最後に、シークワサー果汁を加え、混ぜる
③好みの型に入れて、冷蔵庫で冷やし固めるだけ。
簡単でしょ！

固まったら、更に、表面に紅イモフレークを散らしてご覧。盛り付けや形は自由自在、他の果物と盛り付けても良し。ママゴト気分でどうぞ！
「まあ～素敵！」とおっしゃる参加者のみ～んなが、ニコニコよ！！
四月、人生の門出の季節！
この一品どうぞお作りあれ！！

高山厚子　たかやまあつこ
１９４３年沖縄県旧羽地村（現在名護市）生。
名護高校、琉球大学卒。元小学校校長。
沖縄料理研究家。修学旅行アドバイザー。
執筆、講演活動、料理教室（自宅＆出張）等で全国を飛び回る。
ＮＨＫワールド・あさイチ等テレビ出演多数。
・琉球大学同窓会関東支部長
・著作「緑のカーテンの恵みを食べよう」他

沖縄料理を学びたい人は、料理教室へご参加あれ！
有楽町線・副都心線平和台駅徒歩５分

アメブロ
「空飛ぶあっちゃんのブログ」にて
沖縄料理発信中

白洲次郎と白洲正子。
ふたりが愛した景色の中を、
すこし歩いてみませんか。
旧白洲邸 武相荘

沖縄をもっと身近に！
業務用沖縄食材卸なら
株式会社香那ホールセール

こちらオキナワグラフ編集部 #01

ハイサイ！ 1958(昭和33)年創刊の写真月刊誌、オキナワグラフ編集部です。弊誌の版元は那覇市にある「新星出版株式会社」。地元・沖縄の時事ネタを拾い集め、大誌面に載せたカラーグラビアを県内外にお届けしています。

この4月号から『ハイサイ！ウチナ～タイム』さんとコーナーを交換し、お互いの読者に「関東発→沖縄着」もしくは「沖縄発→関東着」の情報を届け合うことにしました。太っ腹の宮里編集長がまるまる1ページご提供くださったので、気合を入れて沖縄発の情報をお届けしますよー！ どうぞご期待ください。

記念すべき第1号のお知らせは、今年2月に発行した『首里城再録』について。弊誌初の増刊号となった同号は、昨年10月に焼失した首里城正殿が誕生するまでの記事を追った唯一無二の記録であり、収益の一部を首里城公園に寄付する再建応援企画でもあります。

60年以上にわたる「沖縄の歩み」をつぶさに記録してきた弊誌ですので、平成の首里城が計画されてから竣工に至るまでの記録をめくり返していくのも一苦労！ 最初は「1冊48ページくらいで作ろう」と話していたものの、捨てがたい記事が多く、結局64ページという大ボリュームでの刊行となりました。

昔のオキナワグラフをご存知の方は「あの大きな雑誌ね～」と言われます。現在はA4判変型で刊行しておりますが、同号は縮小せずにお読みいただきたいという意図から、懐かしのB4判で刊行しました。手に取るとずっしり！ 歴史の重みかこれは？(いやたぶん本当に重い…)

関東圏でお買い求めになりたい方は「銀座わしたショップ本店」へ！ 誌面の一部をパネルにした特別展も開催中ですので、併せてお楽しみいただけます。お問い合わせは編集部まで

(☎098-863-3021)。

※Twitter 始めました！

https://twitter.com/okinawa_graph

MONTHLY PHOTO NEWS オキナワグラフ 増刊

首里城再録 ― 読み返す60年 ―

B4判 全64ページ
定価 1,000円(税別)

ナゴラブへは
こちらから→

みなさま名護市に行ったことはありますか？

美ら海水族館は行ったことはあるけど名護市ってよく知らないというあなた、もったいな～い！

海と山に囲まれた名護市は国内の「最も居心地の良い場所」ランキング堂々4位（オンライン宿泊予約サイトの「Booking.com（ブッキング・ドットコム）2020.1.15」調べ）になった、旅でも良し、住むにも良しのオススメの街なんですよ！

そんな名護市は今年8月1日に市制50周年を迎えます。この記念すべき年に、名護市を思い切り楽しむ情報マガジンサイトが誕生しました。

その名も『ナゴラブ』。

見る、食べる、癒されたい、遊びたい…。そんな数えきれない名護市の楽しさがたっぷり紹介されています。

このサイトがいいのは、地元の女性が中心になり制作されていているところ。リアルでオシャレなナゴが紹介されています。

例えば、地元でも知る人ぞ知る本当は教えたくないグルメスポットや、衣料・雑貨と自然な食を取り扱う雑貨屋さん（リーズナブルなので旅のみやげスポットとしてぜひ覗いていただきたい！）、インスタ映え必至のサンセットカフェなど訪れたくなるお店がいっぱいです。ぜひサイトでチェックしてみてくださいませ。次の沖縄旅行のヒントになるはず。

ちなみにみんなが大好きなオリオンビールはナゴで作られてます。工場見学やビールの試飲もできますよ。名護いいなぁ～。

いつまでも眺めていたい名護の夕日。

提供 ナゴラブ

名護市は、昭和45年8月に名護・屋部・羽地・屋我地・久志5町村が合併し誕生しました。今年2020年8月1日には市制50周年を迎えることとなります。

Text 宮里英克

パンダ親父の 世界は泡盛でうまくいく

-001-

岡山進矢
泡盛新聞東京支部長
泡盛トリコロール主催

皆さん初めまして、岡山進矢です。あっ、またの名をパンダ親父と言います。パンダ親父とは、私が描いているマンガのキャラクター。特に意味はないのですが、自分自身を投影する「アバター」としてよく使っているので、ここでもそう名乗らせてください。ちなみに電子書籍単行本も絶賛発売中ですので、よかったら買ってネ♪

普段はグラフィックデザイナーを生業としていまして、このフリーペーパーのタイトルロゴや、編集長が主催するトークショーのポスターなんかも私の作品。あと沖縄好き・泡盛好きが高じて、泡盛のイベントやラジオ番組を主催したり、泡盛新聞で記事を書かせてもらったりもしています。

さてさて、そんな私がなぜここで連載をさせてもらうことになったかというと、えーと、…ノリです。

連載開始することが決まったのが実に締め切りの4日前。いや、決まったのがというか、話が発生したのがその日でした。

「テーマは丸投げで。」と、歴史と権威のあるフリーペーパーの編集長とは思えないセリフで直々のご依頼。いや、これこそが熟達のプレッシャーなのか。

だったらせっかくなら、大好きな泡盛のことを、読者の皆さんにお届けしたい！

知ってました？ 泡盛を飲むと、世の中の問題や困り事って、だいたい解決しちゃうんです。マジです。そのことについて、連載で少しずつ紹介させてもらおうかな。まぁ準備時間もなかったことだし途中で変えるかもしれませんが。デザインもやっつけなので、追って修正するかも。ああ、困った。ゴクゴク。

ラジオマン「げんちゃん」が運営するnote「おきなわコンセプト(仮)」への参加も決定。連載と同時進行で、音声や日々の呟きもお届けします！

電子書籍 単行本 絶賛発売中！

ポチッ

現在は「日経DUAL」にて
パンダ親父の
注文住宅建てます日記
期間集中連載中!!

沖縄県内 OKINAWA オススメ情報 沖縄県外

伊江島に北海岸にあるリリーフィールド公園で開催される日本一早いゆり祭り。広大な敷地に広がる真っ白なテッポウユリや世界中から集まる 100 品種のカラフルなゆりが楽しめます。また期間中はステージでのライブパフォーマンスなど、昼も夜も楽しめるイベントが盛り沢山。ぜひゆりの甘い香りと壮大な景色をお楽しみください。

日程：4 月 25 日 (土) ～ 5 月 6 日 (水)
場所：リリーフィールド公園（沖縄県国頭郡伊江村字東江上 3087）
お問合せ先：伊江島ゆり祭り実行委員会
(伊江村役場商工観光課) 0980-49-2906

北谷公園サンセットビーチ海開き

初夏の訪れを告げる沖縄の恒例イベント海開き。海開き以降は遊泳期間となり、日中の遊泳が可能となります。「北谷サンセットビーチ」は、沖縄有数のサンセットスポットで白い砂浜から眺める夕日は、特別な景色になること間違いなし！ここ最近ではサンセットをバックにプロポーズするカップルも増えており、恋人たちの新たな縁結びスポットとなりつつあるそうです。ビーチのすぐ近くには、ショッピングモール・映画館・観覧車・公園など海水浴と一緒に楽しめるスポットも盛りだくさん！観光客はもちろんのこと地元の人や外国人の家族連れにも人気のビーチです。

日程：4 月 10 日（金）9：30 ～予定
場所：北谷公園サンセットビーチ管理事務所 (正面にて)
お問合せ先：北谷公園サンセットビーチ管理事務所 098-936-8273

体感！日本の伝統芸能
ー歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界ー

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機として政府が推進する「日本博」及び「日本美を守り伝える『繋ぐプロジェクト』」の一環として開催。ユネスコ無形文化遺産である日本の伝統芸能、歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊を通じて、日本の美に迫ります。組踊「二童敵打（※写真）」からは紅型衣装や小道具、装身具類を舞台写真と併せて紹介。また沖縄の羽衣伝説をもとにして創作されたといわれる組踊「銘苅子」の天女を立体的に展示します。伝統芸能を「見て」「聞いて」「触れて」楽しむ機会ですので是非お出掛けください。

日程：3 月 10 日（火）～ 5 月 24 日（月）※月曜休館
場所：東京国立博物館 表慶館
お問合せ先：03-5777-8600（ハローダイヤル）

☆開催について主催者にご確認の上お出かけください。
情報提供（一財）沖縄観光コンベンションビューロー東京事務所

YouTube ハイサイ！ウチナータイム！
4月6日(月)スタート！
第１回目のゲストは YAASUUさん!!

協力 沖縄料理と三是の魚 みこれんちゅ（新宿駅南口）

YAASUU（やーすー）
沖縄県宮古島出身シンガーソングライター
東京を基点に全国でライブ活動を行う傍ら、宮古島市公認の宮古島大使としても活躍。
2020 年
・TBS 系列全国音楽情報番組「MUSIC B.B.」に自身の曲【後からな】がエンディングテーマにタイアップ
・日テレの音楽情報番組「バズリズム 002 」に出演。
宮古島若手ナンバー 1 としても注目度をあびている。

ASOVIVA resort instrument factory
-三線製作・販売・教室- アソビバ

日本乃音選曲集

創作和楽器『日本乃音』を全国の三味線及び三線奏者が奏で唄った渾身の21曲（65分49秒）を収録。
-NIPPON NOTE SONG SELECTION-
¥3,000（税抜）

住所 〒904-0324 沖縄県中頭郡読谷村長浜 815-3
営業時間 年中無休 営業時間 9 時～ 18 時
連絡先 Tel：098-958-7750 Fax：098-958-3225

ASOVIVA 全国&海外催事情報 - 4 月 -
☆恒例の岡山6days
1日(水)～6日(月) 天満屋岡山九州沖縄展出店
☆故郷信州での凱旋イベント
7日(火) 20 時～ 松本市内 沖縄クラフト&カフェ美ら音にて 世界の山ちゃんと ASOVIVA☆NIGHT in 松本&オープンマイク大会開催
☆恒例の長野1weeks
8日(水)～14日(火) 井上アイシティ沖縄展出展
☆初の広島百貨店出展
16日(木)～21日(火) 広島福屋百貨店沖縄展出展
17日(金) 20 時～ 広島市内沖縄居酒屋にて 世界の山ちゃんと ASOVIVA☆NIGHT in 広島&オープンマイク大会開催
4月後半はHPでチェック！
ASOVIVA アソビバ 三線 検索

読者プレゼントお申込方法

『湘南三線のど自慢大会』、『好きになったよ！沖縄フェスティバル』のチケットをハイサイ！ウチナータイム！ファン倶楽部にご登録の方にプレゼント！

お申込み方法
1.LINE公式アカウント『ハイサイ！ウチナータイム！ファン倶楽部』に4月15日までにご登録していただきます。
2.3月16日に"合言葉"を送りますので、それをメールにてお送りください。
info@miyazatohidekatsu.com
締切 4月23日
当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

LINE公式アカウント
@949gagmw
ハイサイ！ウチナータイム！ファン倶楽部QRコード

皆様からご提供いただいた個人情報については、利用目的以外の目的では利用いたしません。

2年4ヶ月ぶり渾身のフルアルバム

2020.2.22 ON SALE ¥3,200（税別）

バンドワゴン かりゆし58

かりゆし58、2年4ヶ月ぶりのオリジナルフルアルバム発売！大ボリュームの15曲入りで、レゲエなダンスミュージックから、2月に配信でリリースされた骨太ロックのバンドワゴン、かりゆし58らしいメロディックソングまで、バラエティ豊かな楽曲が詰まった1枚。今作には休養していたの中村洋貴もほぼ全曲参加しており、かりゆし58の第2章となる記念すべき作品となるだろう。かりゆし58らしさも新しい一面も混ざり合った新作は必聴！

[収録曲]
1.声のジェット機：宇徳敬子
2.千惚り万惚り
3.GO!MangoMan
4.太陽のひと：あびこめぐみ
5.カケラ
6.ミックスナッツとロックグラス
7.バンドワゴン-5seats-
8.Endroll
9.REALITY
10.桜花謳歌
11.ノック
12.赤夢波-KAMUNAMI-
13.True
14.シャララ ティアラ
15.Unity-結仁庭-

読者プレゼント！ ペア2組4名様

第1回 好きになったよ！沖縄フェスティバル

出演者は沖縄をリスペクトするヤマトゥンチュ、ゲストはウチナーンチュのライブ。

日時：5月16日(土) 14:00 開場／15:00 開演 (20:30 終了)
チケット料金：前売 3000円 当日 3500円
会場：R'sアートコート(新宿区大久保1-9-10 労音大久保会館)
問合せ：湘南三線のど自慢大会実行委員会
TEL 080-6505-0108
MAIL nodojiman34@yahoo.co.jp

読者プレゼント！ ペア3組6名様

第16回 湘南三線のど自慢大会

唄わぬ人生より唄う人生の方が面白いのだ！三線を使ったのど自慢大会。

日時：5月9日(土) 14:00 開場／14:30 開演
チケット料金：前売 800円 当日 1000円 (小学生以下無料)
会場：藤沢市民会館(神奈川県藤沢市鵠沼東8-1)
問合せ：湘南三線のど自慢大会実行委員会
TEL 080-6505-0108
MAIL nodojiman34@yahoo.co.jp

銀座でウチナートークショー10

様々なジャンルの素敵なゲストとのトークショー

編集長 宮里英克の銀座でウチナートークショー10

日時：4月10日(金) 17:30 開場／18:00 開演
☆観覧無料
会場：銀座一丁目劇場(銀座わしたショップB1)
問合せ：ハイサイ！ウチナータイム！編集部
MAIL info@miyazatohidekatsu.com

ボーダーインクの本
電柱通りにある沖縄の出版社

沖縄で新聞記者になる
本土出身記者たちが語る沖縄とジャーナリズム
畑仲哲雄 著

定価 1,320 円 (内税)

あなたはどんなふうに〈沖縄〉と出会いましたか？沖縄県内二紙で働く本土出身記者たちのまなざしを通して、沖縄ジャーナリズムの現在を問う。

かつて沖縄のジャーナリズムは「沖縄人の沖縄人による沖縄人のための言論」であった。しかし今日沖縄の新聞社には少数ながら本土出身者が記者として働いている。どういう経緯で記者になったのか。「ヤマト」という属性とどう折り合いをつむぐのか。記者たちのインタビューを通して考える沖縄ジャーナリズムの現在。

ボーダーインクの本は、ホームページから購入できます
http://www.borderink.com

東京 島のわ通信
Tokyo Okinawa Food Community

首都圏（東京、神奈川、埼玉）の沖縄料理店 50 店舗をネットワーク。沖縄料理店から観光情報やイベント情報、特産品や食材の情報を発信しています。

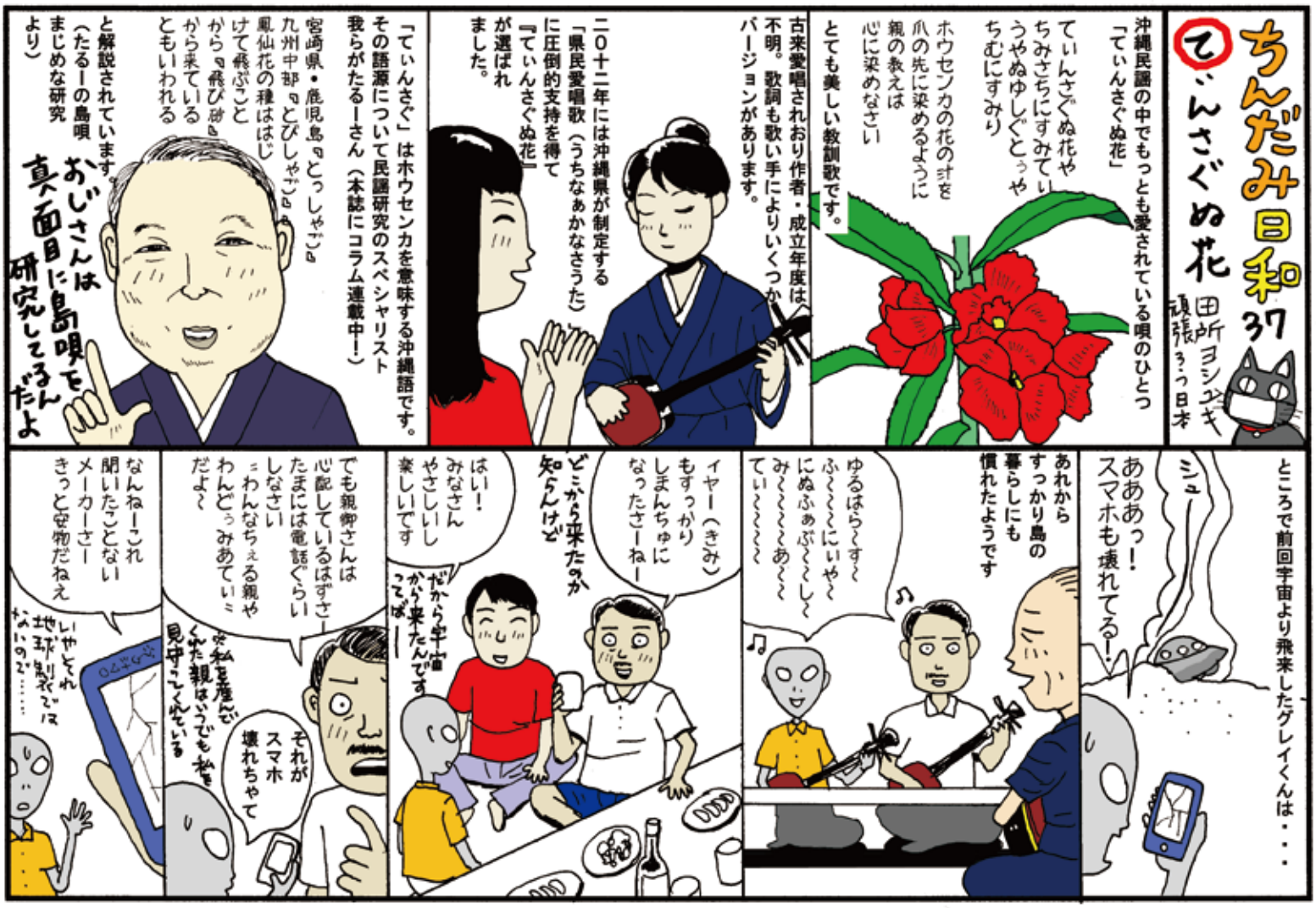
沖縄料理店オススメ情報！

沖縄の台所ぱいかじ
浦和パルコ店

沖縄三線生演奏！
毎週金・土・日に2時間！
ライブチャージ無料!!
たっぷり2時間生演奏!!

◇毎週水・金・土・日
水 18時30分～20時30分
金・土 19時～21時
日 18時30分～20時30分

■お問合せ・予約
048(611)8325


ちんだみ日和 37
てぃんさぐぬ花
田所ヨシユキ 頑張れ！日本
沖縄民謡の中でもっとも愛されている唄のひとつ
「てぃんさぐぬ花」
てぃんさぐぬ花や
ちみさちにすみてぃ
うやぬゆしぐとぅや
ちむにすみり
ホウセンカの花の汁を
爪の先に染めるように
親の教えは
心に染めなさい
とても美しい教訓歌です。
古来愛唱されおり作者・成立年度は不明。歌詞も歌い手によりいくつかバージョンがあります。
二〇十二年には沖縄県が制定する「県民愛唱歌（うちなぁかなさうた）」に圧倒的支持を得て『てぃんさぐぬ花』が選ばれました。
「てぃんさぐ」はホウセンカを意味する沖縄語です。その語源について民謡研究のスペシャリスト我らがたるーさん（本誌にコラム連載中！）
宮崎県・鹿児島『とっしゃぐ』九州中部『とぴしゃぐ』『鳳仙花の種はばじけて飛ぶことから『飛び砂』から来ているともいわれる
と解説されています。（たるーの島唄まじめな研究より）
おじさんは真面目に島唄を研究してるんだよ
ところで前回宇宙より飛来したグレイくんは・・・
シュー
ああぁっ！スマホも壊れてる！
あれからすっかり島の暮らしにも慣れたようです
ゆるはらくすくふくくくにぃやくにぬふぁぶくくしくみくくくくあくくてぃくくくく